

ふたかみ NEWS プチトマト

お知らせ
まちまるしえ
11/3(月祝)
10時～15時
峰塚公園で開催

オリジナルバッグをつくろう！



ハピバールワークショップ

この夏は「ステンシルでオリジナルバックを作ろう！」のワークショップを開催しました。楽しそうに参加してくれ、こちらまで笑顔になりました！今後もたくさんワークショップをして行く予定ですので是非ご参加お待ちしております♪



じゃーん！かんせーい！

おでかけにピッタリ！



社会福祉法人ふたかみ福祉会

〒583-0841 大阪府羽曳野市駒ヶ谷 105 番地 1 TEL 072-959-3221 FAX 072-959-3264

Email: futakami@kagayaku-inochi.com <https://kagayaku-inochi.com/company/>

発行責任者：石本悦二 編集責任者：関口奈緒美



スマイルフェスタに参加して

今月13日に河内長野市で行われたお祭りに参加させていただきました。主催は地元の福祉事業所で、授産品を売る店やキッチンカー等が並びました。羽曳野でもこんな事ができたらいいと思います。(関口こ)



はびきの園10月販売予定

13日(月祝) スパルフェス
19日(日) 羽曳野市ふれあい健康まつり
27日(月) ぶどうの家 11:00～11:30
28日(火) イズミヤ古市店



ふたかみ福祉会後援会主催

全品100円

秋の古着市
11/29(土)
10:00～13:00

※当日の天候等により、時間を変更する場合があります。

翠鳥園横空き地(イズミヤ古市店横) 子ども服あり！
売り物：古着、靴、かばん

バザー物品の提供をお願いします

*回収期間：10/1～10/31

【お問い合わせ】〒583-0841 羽曳野市駒ヶ谷 105 〔法人事務局〕ふたかみ福祉会

TEL (072) 959-3221 FAX (072) 957-2215

受付時間：月～金 9時～17時 お電話いただければ回収に伺います。

・成人服と子ども服の分別、段ボールでの提供にご協力いただけますと幸いです。
・いただいた品物の返品はできませんのであらかじめご了承ください

■後援会入会及び更新の方々(敬称略)

9月号で、越野玲子様のお名前に誤りがありました。訂正してお詫び申し上げます。

2025年8月

・田中美希

・・・5口

・加藤勝己

・・・3口

・横浜幹子/西川光子/藤よし子

・・・1口

■寄付・寄贈 横浜幹子様

■ボランティア・・・垣内秀夫様

■アルミ缶回収(8月分)・・・592kg

ありがとうございます

◆2025年度ふたかみ福祉会後援会入会、更新のお願い◆

皆様の引き続き日中支援事業所や相談支援へのご支援をどうぞよろしくお願いいたします。

【個人会費：1口2,000円 団体会費：1口10,000円】郵便振替口座：00940-5-325894

個人会費については6月の総会で、2025年度からの会費の改定をしています。

cafe ハピバール
10月の予定

定休日 毎週水曜/日曜

休み 4日(土),13日(月)

17日(金),18日(土),25日(土)

★Instagram★
cafe-hapibar.com



お問い合わせ先
072-958-3232

「障害のある人のくらしを考える」

きょうされん主催で「2025年度第16回居住支援についての学習・交流会」がきょうされん全国事務所でおこなわれ、東は北海道、西は熊本までの参加者27名が集いました。

情勢学習では、戦後80年の障害のある人の暮らしの問題について学びました。1940年の「国民優生法」から、戦後1948年に旧「優生保護法」ができたことで、障害のある人が「不良な存在」として「位置づけられまし

た。また1950年には精神衛生法のもと、予防拘禁など「収容隔離」という考え方が広がってきたという過去があります。私たちはこの事実を今一度掘り下げるべき問題の一つだと言えます。

近年、グループホームの事業数が増えています。社会福祉法人やNPO法人は増えていないのに、営利法人が異様に急増し、新規事業所の82%が会社法人を占めています。

「相談支援」って何をやるの？

「相談員」や「相談支援」を耳にする事がありますか？どのような事をしているのか、分からない部分も正直多いかと思

います。悪質な営利企業参入を減らすという考えがあるようですが、数を規制するのではなく「事業所指定の在り方の見直し」が必要かと思われます。

各都道府県の方々との意見交換では、どここの事業所も「人手不足」の問題に頭を抱えていま

した。障害支援区分の軽い方が入居しているグループホームでは赤字が続

き、本当に深刻な状況であると発言されました。この事業所も本当に大変な思いや、苦しい思いをして事業運営していることが共有されまし

た。このよう課題を乗り越えるためには「今、私たちがおこなっている実践を発信」していくことをキーワードに「運動」していくことが大事であることが確認されました。

障害のある人の暮らしを守るためには、そこで働く職員の処遇を良くしていくことも必須です。だれもが安心して暮らせる社会にしていきたいと思いま

す。（関口な）

「法人研修基礎講座

なかまにとつての安心について考えよう！」

9月6日に立命館大学の田村和宏先生を講師に招き、今年度、2回目の基礎講座研修が行われました。午前の部は前回の振り返りで制度の話や「安心」とは？をテーマに議論が進んで行きました。安心とはなにかを考えるグループワークでは「先の見通しがもてること、自分自身を理解してもらえ

る環境があり人がいる、経済的に整っている」などが挙げられました。安心は制度や仕組みだけで保障されるのではなく、人との日々の関わりや環境によっても生まれるものだ実感しました。

安心は「孤立しないこと」と深く結びついています。医療的ケア児の家族が孤立化してしまい、悲しい事件になってしまった事例を取り上げた映像を視聴し、グループワークを行いました。映像を見てあまりに衝撃的で言葉に詰まっ

てしまいました。事件が起きてしまった要因は、「社会的孤立感、将来への見通しが経てない、幸福を見出すことが出来なかった」などの意見がでました。事件を起こさないためにも、制度を利用しや

すい環境や周囲の人の支援など社会全体で支えることが大事だと議論しました。午後からは「発達」についての講義を受けました。講義の中で「すべての人間の発達の基本的すじみちは共通である」という言葉が印象的でした。誰もが同じ発達の流れをもっているため、すべての人が平等に発達の充実を保障されるべきとされています。そのため、その人にあった支援や環境が大切だと考えます。

「産経はばたけアート公募展2025」

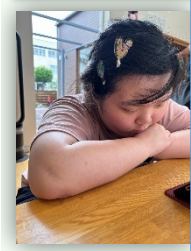
産経はばたけアート公募展になかまの作品を応募しました。審査会は、産経新聞大阪本社にて開催され、122点の中から、高島美優さんの、「四季」の作品が優秀賞を受賞、楠本明日華さんの、「万華鏡の世界」の作品は佳作を受賞しました。また、高島さんと楠本さんの作品は、9月27日、28日に梅田のブリーゼブリーゼ1階メディアコートで展示され、多くの人に作品を見て頂くことができました。今回の受賞本当におめでとうござい



優秀賞
高島美優さん
「四季」



佳作
楠本明日華さん
「万華鏡の世界」



相談支援には、大きく分けて二つの柱があります。ひとつは「基本相談支援」です。生活に

関する悩みや心配ごとについて、気軽に相談できる窓口として

て機能します。制度や手続きの案内、地域の情報提供、権利を守るためのサポートなどを行い、必要に応じて福祉・医療・教育・就労など関係機関につな

ぎます。地域ごとに設置されている「基幹相談支援センター」は、その中核を担い、ネットワー

クづくりや地域の相談体制の整備にも力を入れています。

もうひとつは「計画相談支援」です。障害福祉サービスを利用する際には「サービス等利用計画」の作成が必要になります。相談支援専門員がご本人やご家族と面談し、「どんな暮らしを望んでいるのか」「どんな困りごとがあるのか」を一緒に整理し、計画を立てます。その後

も定期的に振り返りを行い、生活の変化に合わせて計画を見直ししていきます。これにより、一人ひとりの思いや希望に沿ったサービス利用が可能になります。

相談支援の大切な視点は「本人主体」です。支援者が解決策を押し付けるのではなく、ご本人の気持ちや選択を尊重しながら進めていきます。相談支援専門員は取りまとめ役としてサ